



住民要望の解決に向け

担当者から説明を受け状況を確認する議員。



現地の状況を確認

(左) 寺畑地区 (寺畑橋)、(右) 四日市地区 (町道四日市中村線)

災害復旧工事箇所などを調査

「輝くふるさと常任委員会」所管事務調査

輝くふるさと常任委員会は6月3日と4日、25年度に完了した事業と26年度に実施する工事箇所などの調査のため、町内を視察しました。2日目は、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター(志田悟所長)と「県営工事の情報交換会」を開催。鈴木町長、觸澤副町長も出席し、県が行う道路整備事業などについて意見を交わしました。

が狭いため、周辺を含めた一体的な整備の検討が必要」などの意見が出されました。

町道宝積寺線では、昨年度の調査で議会が指摘した意見を踏まえ、道路の拡幅や融雪システムの設置箇所が延長されていることを確認しました。

工事の実績と進捗の状況

今回の調査では、25年9月に発生した台風18号の影響で破損した町道などの復旧工事箇所の進捗状況や、すでに完了した工事箇所の様子を調査しました。

1日目は、町中心部と江刈方面を中心に調査。町道葛巻浦子内線の道路整備と大橋の架け替え工事では、「大橋を渡った落石の危険箇所を避け、既存の住家などに影響が少ない設計の検討が必要」、「町道浦子内線に入る国道からの入り口部分



町道宝積寺線の拡幅状況を確認する議員

そのほか、橋場自治会から要望があった、未整備の集落道と用排水路の不具合箇所を確認。「未舗装の集落道は町の管理道路で狭い状態のため、今後改良整備が必要」との意見が出されました。2日目は、田部、小屋瀬方面を調査。24年2月に発生した凍上災害の復旧工事の完成状況などを確認しました

《26年度県事業の主な内容》

26年5月末現在の計画

種別	工事の内容	工事年度
道路事業	茶屋場地区交差点の改良工事 (1箇所)	24~25年度
	四日市地区の道路改良工事 (L=320m)	25~27年度
砂防事業	ヌナヤ沢砂防事業 (ダム1基)	24~28年度
	市部内の沢砂防事業 (ダム2基)	21~28年度
	馬淵の沢砂防事業 (ダム1基)	22~27年度

県が進める工事 本年度の計画

2日目の調査終了後、町長と副町長も出席して県との情報交換会を開催しました。

冒頭、県の担当者が、今年度を実施する事業の内容を説明しました。本町で計画されている、主な事業内容は下の表のとおりです。

そのほか、町が要望を行っている城内小路地区の急カーブ箇所の解消に向けて、検討を始める旨の説明を受けました。本年度は、概略設計や地元説明会を計画しています。今後も、町と県が情報を共有しながら、連携して進めて行くことを確認しました。

【調査を終えて】

調査の結果、概ね順調に、町の事業が進捗している状況を確認しました。

なお、事業の執行に当たっては計画どおりに進め、最大限の事業効果を出せるように進捗管理を徹底することを、町に伝えました。



県との情報交換会の様子 (プラトール)